

埼玉県立近代美術館ミュージアム・シアター

映画のなかの女性イメージ

見る／見られる女性



「燃ゆる女の肖像」 ©Lilles Films.

イギリスの映画批評家ローラ・マルヴィが、フェミニスト映画理論の記念碑的論文「視覚的快楽と物語映画」(1975)を発表してから間もなく50年が経ちます。ハリウッド映画が想定する観客は男性であると主張し、その物語の構造には、家父長制などの因襲的規範が無意識の操作のもと組み込まれていることを指摘したマルヴィの論文は、映画をフェミニズムの視点から分析した先駆的な試みとして今なお多くの人々に影響を与え続けています。今回のミュージアム・シアターでは、マルヴィの論文を起点とし、古典的ハリウッド映画や現代の女性監督による映画作品を通して、映画のなかの女性イメージの変遷について探ります。

3月8日(土) (開場 10:00)

10:30 ~ 12:40 アルフレッド・ヒッチコック監督「めまい」(1958)
12:55 ~ 14:50 アルフレッド・ヒッチコック監督「裏窓」(1954)
15:05 ~ 17:10 セリーヌ・シアマ監督「燃ゆる女の肖像」(2019) [PG12]

※「燃ゆる女の肖像」上映終了後は、展示室最終入場時刻の17:00を過ぎるため、企画展・MOMASコレクションは観覧できません。あらかじめご了承ください。

3月9日(日) (開場 10:00)

10:30 ~ 12:40 「めまい」
12:55 ~ 15:00 「燃ゆる女の肖像」 [PG12]

9日の上映終了後、映画研究者の齊藤綾子氏(明治学院大学教授)をお招きし、マルヴィの取り組みやフェミニスト映画理論についてご講演いただきます(80分程度)。

会場：埼玉県立近代美術館2階講堂 定員：各回80名(事前予約制・参加無料)

申込方法：「ミュージアム・シアター担当者(p2401115@pref.saitama.lg.jp)」宛に以下の必要事項をメールでお送りください。申込は2025年1月7日(火)より受け付けます。

- ①氏名(参加者全員分)
- ②人数(2名まで可)
- ③参加希望日
- ④ご連絡先(電話番号)
- ⑤鑑賞希望作品(複数可。9日の講演会は12:55～「燃ゆる女の肖像」鑑賞とセットです)

問い合わせ先：048-824-0110

詳細はHPをご覧ください

